

## グンバイトンボだ!

「このトンボやろ」と言って校長先生が教室に入ってきました。そのトンボを見ると後ろ足の2本ずつに白いものがついていました。前足には、何もついていません。白いものがおすもうの行司さんが持っているぐんばいみたいだからグンバイトンボという名前だそうです。体には、物さしみみたいな線が入っていました。体がすごく細くてびっくりしました。わたしは、イトトンボみたいだなあ、どうしてグンバイトンボが学校に来たんだろうと思いました。先生が「きれいな水が学校の近くにあるしるしだね」といいました。そうか、学校のまわりにきれいな川があるからグンバイトンボが学校に来たんだ。わたしは、この水がきれいではなかったです。



種名：たねにしやま西山  
絵：3年

(拳ノ川小学校 3年 畦地 梨乃亜)

## 人と関わり合える上川口マルシェ

11月25日に、上川口マルシェがありました。以前上川口では、白石祭というお祭りがありました。その祭りがなくなつたので、上川口がさみしくなる、上川口を盛り上げたいという思いで、5年前から始めたのが、この上川口マルシェです。5・6年生は、2学期から本格的に準備を進めていきました。手作りのポスターやチラシを置いてもらうために、一軒お願いしにお店を回りました。緊張したけど、ほくたちの気持ち伝わるように、顔を見て話をするようにしました。

当日は、町内外からたくさんの方が来てくれました。国道をたまたま通った県外の人も来てくれました。あいさつだけでなく、「どこから来ましたか?」といった会話もするようにならばりました。この学習を通して、人と関わる力がついたように感じます。



(上川口小学校 6年 宮地 陸翔)

## 人権講演会を聞いて

私たちは、11月12日(日)に人権集会を行いました。人権集会の中で、小国恵子さんを講師としてお招きして、人権に関する講演会(テーマ「災害から命を守る」)避難生活の人権を考える)を開きました。小国さんは、防災士という資格を持っており、被災した後の避難所生活の様子や人権を守ることにについて、お話をしてくださいました。

講演を聞いて、避難所生活での困りごとやプライバシーの問題など、たくさん困りごとがあることが分かりました。また、その困りごとのなかには女性特有のものもあるということを知りました。様々な立場の人の困りごとを事前に知っておくことは大切なことだと思います。もし地震がきたら、避難所での生活がよりよくなるように、今回学んだことを活かして、協力していきたいと思っています。



(佐賀中学校 2年 澳本 小町)